

危険

圧雪や凍結で路面はツルツル。冬の踏切は危険がいっぱい。

冬の踏切に注意

早急ブレーキ



踏切に入る手前では
必ず一旦停止、
自分の目と耳で
安全を確認してください。

左右確認



- 停止線のある場所では、停止線の直前
- 停止線のない場所では、踏切の直前
(しゃ断ボールの手前)

ここにスペースが
できてから発進!!



※トリコ:しゃ断ボールが降りて踏切内で取り残されること。

先づまりのときは、
警報器が鳴ってなくても
踏切に入らないでください。
しゃ断ボールが降りてきて
トリコになってしまいます。

2万
ボルト

感電注意



クレーン車のブーム、
ダンプの荷台を上げたまま
踏切に入ると電車線を切断し、
感電の恐れがあります。

毎月23日は「踏切の日」

JR北海道

踏切でのトラブル対処法

冬は滑りやすく特に危険！早めのブレーキとスピードダウンで

もし踏切で閉じこめられたら、そのまま車を進めて脱出してください



しゃ断ポールは折れずに斜めにあがります。すぐに脱出してください。

しゃ断ポールが降りきってから、約15秒で列車が来ます。



もし踏切で車が動かなくなったら、非常ボタンか発炎筒で列車を止める手配をしてください。

※無事に列車を止め、列車やお客様に被害がなければ、損害金はいただきません。



踏切を列車が通過するときのメカニズム



列車が来るまで

急ブレーキをかけてから列車が完全に停止するまで約600m

警報機が鳴り始めてから……約30秒後
しゃ断ポールが降りきってから……約15秒後



警報機が鳴り、しゃ断ポールが降り始めた時に踏切内でトラブルが発生すれば、残された時間は極めて短いのです。